

達古武湖自然再生事業における 森林に対する普及啓発について

平成27年11月20日（金）第15回森林再生小委員会
環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所

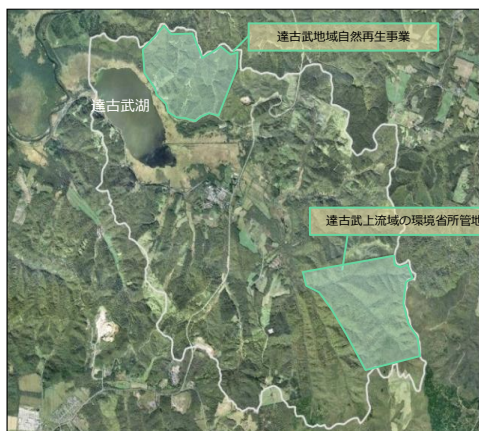
達古武湖自然再生事業について

2

目 標

達古武湖に流入する栄養塩類の流入負荷抑制と、ヒシ繁茂が水生植物の生育環境に与える圧力を低減することにより、達古武湖のヒシ以外の水生植物が安定的に生育できるような環境を保全・復元すること

- ▶ 実施期間
2013年度～2017年度
- ▶ 対象地域
達古武湖133ha及びその流域2,400ha



実施している対策

3

- ▶ ヒシ分布域制御
- ▶ 流域からの栄養塩類流入抑制
 - 1) 南部湿地帯の汚濁物質の除去
 - 2) 流域からの流入負荷抑制対策
(農地・林地)



【達古武湖自然再生工事】
2014年11月～2015年3月に実施済



※南部湿地帯の汚濁物質を含む土壌（達古武への栄養塩類流入の約2割）を除去し、封じ込める工事を実施



これまでの検討 (農地からの流入負荷抑制対策)

4

▶ 調査・検討

■ 標茶町農業協同組合（JA標茶）に農家の営農状況や施肥実態をヒアリング

調査対象：達古武湖流域内に農地（牧草地・放牧地）を持つ農家

■ 北海道などのマニュアル等と照合し、適切性を判断

・農地はほとんどの場合で基準等を満たした農業・畜産業が実施されている

場所	項目	調査・検討結果
牧草地	施肥量・方法	施肥は 適切な量・方法 。 (草地更新時、維持管理時)
	肥料の資材	草地更新時は化学肥料のみの施用で適正な資材。 堆肥と化学肥料を併用 することで、 全体の施肥量を削減できる可能性 が示唆された。
	土壌の被覆	特に問題はなし。 土壌流出の対策 をとることで、 翌年の施肥量を削減できる可能性 が示唆された
放牧地	放牧時の施肥	適切な量・方法 での施肥。
	放牧の密度・時間	一部でやや 放牧時間が長くなっている可能性 が示唆された。

これまでの検討 (林地からの流入負荷抑制対策)

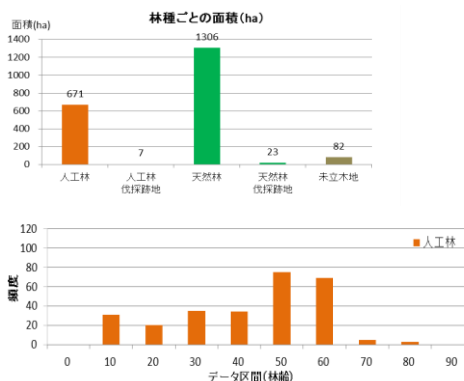
5

調査・検討

■ 釧路総合振興局より得た森林調査簿データ（H25.1.1時点）をもとに、**達古武湖流域の森林の樹種構成、林齢、施業履歴等**を整理

■ 森林（町有林・民有林）の管理状況・指導状況を釧路町へヒアリング

■ 民有林の指導状況等を釧路東森林組合へヒアリング



現状と課題 (林地からの流入負荷抑制対策)

6

	分類	現状	課題・検討結果
山林の 適正 管理	伐採管理	・ 組合加入者は森林組合の指導の下、適切な森林施業を実施。 ・ 非加入者や、不在地主については連絡が困難な場合がある。	・ 非加入者・不在地主への 連絡や相談窓口を案内 すること ・ 適切な間伐や植林を実施すれば補助金対象となることを再度お知らせすること ・ 間伐や伐採、作業道の設置等も 下流の環境に与える影響を軽減 するという意識づけ
	下層植生への配慮	・ 森林組合では間伐を適切に実施し、下層植生がなくならないよう配慮	
	伐採後の処理など	・ 森林組合では伐採後は植林を推奨 ・ 自然林の伐採後、植栽が実施されず、母樹等が少ない条件での「天然更新」が行われている例がある	・ 伐採後は 植林など （十分な母樹保残など適切な天然更新を含む）を推奨すること
	作業道の管理	・ 森林組合では適切に実施	
指導 体制	組合加入者	・ 森林組合が、委託または請負で指導・管理を実施	・ 相続時や引越に伴い、不明確になりがちな 森林所有者の把握と継続的な指導
	組合非加入者	・ 釧路町が森林経営計画の受領・指導を実施（※林地開発とは窓口が異なる）	・ 釧路町が、 推奨する施業や相談窓口（組合）を紹介 すること

コミュニケーションツールとして**普及啓発資料**を作成し、配布を検討

7

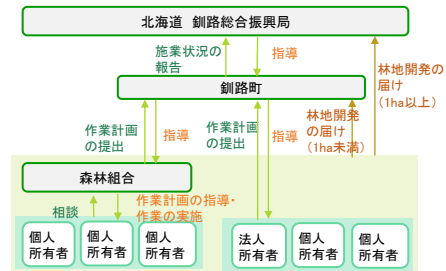
対策：普及啓発資料の作成方針

■ 森林と湖沼環境がつながっていることを再認識できる資料とする

- ✓ 森林所有者が、適切な森林管理（造林から木材の搬出まで）を行うことで、下流域の環境保全に貢献できることを記載する。
- ✓ 適切な森林管理は、補助金の対象となり、経済的にもインセンティブが得られることを記載する。

■ 行政や森林組合が指導・コミュニケーションのツールとして活用可能な資料とする

- ✓ 森林組合非加入者や不在地主への連絡や相談窓口を照会・案内する。
- ✓ 釧路町や森林組合が適切な施業を推奨する際の根拠資料となるよう、補助金制度や適性な管理の事例を具体的に紹介する。



8

普及啓発資料（案）との連携

- ▶ 普及啓発資料は以下の構成とする。（★マークについては次頁以降で説明）
 - ・達古武湖再生事業の紹介【p1】
 - ・面源負荷についての紹介（一般論）【p1】
 - ★森林管理が湖沼環境に与える影響について（一般論）【p2】
 - ★森林所有者が、相談窓口や参考情報を照会できるフローチャート【p3-4】
 - ★マニュアル等や補助金制度の紹介、達古武地域自然再生事業など近隣で実施している施業の事例の紹介【p5-6】
 - ・おわりに【p7】



森林再生小委員会との連携に関するお願い

以下の情報・図等について、情報共有・提供・ご助言いただきたい

- ・普及啓発資料に記載の資料、事例
- ・湖沼の水環境保全に寄与すると考えられる情報の共有
- ・資料の改善に関するアドバイス等

普及啓発資料：森から湖へ (p2)

適切な森林管理により下流にある遠古武湖の環境が守られます

▶ メッセージ

- ・ 森林組合の指導が適切であること
- ・ 釧路町や森林組合が推奨する管理が、遠古武湖の水環境の保全につながる
- ・ 土砂が出ることで、水環境に影響を及ぼすこと

▶ 留意点

1. 現在、土砂が大量に出ているような表現をしない
2. 林業が原因と誤解されないよう留意する

森林管理と下流にある遠古湖環境は繋がっています。
山麓から湖沼に流入する土砂は、富栄養化の原因となる汚濁物質（おぼろけ）を多く含んでいます。
人工林の管理が不十分だと、森林の下層植生が減少し、降雨時に土砂が流出したり、伐採後、何年も経たずして多くの土砂が湖沼に流れ込んでしまいます。
遠古湖の水環境を守っていくためには、森林を適切に管理し、持続的な経営を行うことで、地味が一掃となって、遠古湖への汚濁物質の流入を少なくしていくことが大切です。



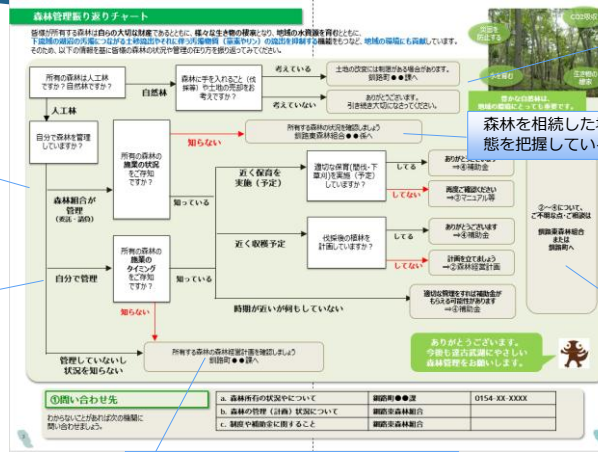
どんなとき土砂が出る？

- ①木材の伐採、枝採などの作業を行うとき
- ②間伐等の手入れをせずに、林床が暗くなり下層植生がなくなるとき
- ③作業道の設置・管理が不適切なとき



遠古武湖流域では、**釧路町**や**森林組合**が下流域の**湖沼の水質の保全**にもつながる、**適切な森林管理の指導**や**補助**を行っています。どうぞ遠古武湖の環境を守るためにご協力ください。

普及啓発資料：フローチャート (p3-4)



自然林の大切さについても言及し、これらの伐採や土地転用に関して、一度釧路町に相談するよう紹介

森林を相続した場合など、組合の方が実態を把握しているため、窓口として紹介

・ 森林組合や釧路町による適切な指導を受ける方向へ誘導する

・ 但し、流域の一員として、組合等に完全にお任せではなく、**森林管理や環境に関心を持つてもらえるような項目をつくる（適切な保育等）**

普及啓発資料：制度・事例紹介 (p5-6)

森林経営計画に基づく施業の実施が土砂流出抑制に有効である。

森林経営計画の策定に伴うインセンティブを明示。森林組合という相談窓口を合わせて紹介する。

北海道等が推奨している手引き等を紹介する。

③森林計画制度について

森林所有者や権利所有者が経営の善行善止を、森林施業の長期方針や5年間の伐採・造林など計画（森林経営計画）を立てる制度です。健全な森林管理の観点で、森林利用に土地の流出抑制が図られ、達古武湖の水質保全に貢献します。

森林経営計画の策定は以下の3つのステップで行います。

- 1 伐採上の特別措置（所得税、法人税、相続税）
- 2 森林補助金の優遇措置（一部で申請が必要）
- 3 森林整備基金と森林組合の活用
- 4 森林整備基金と森林組合の活用

④マニュアル等について

北海道や研究機関が、独自に森林管理に関する様々な手引きを開発しています。樹木や下草の適切な伐採や植栽の時期など、林業の現場で役立つ情報が盛り込まれています。また、下草の除去方法や、適切な伐採方法、適切な伐採時期、適切な伐採量、適切な伐採回数など、現場で役立つ情報が盛り込まれています。

【北海道森林づくりガイド】
平成25年4月 北海道森林研究所・森林組合連合会

保育等の施業の実施にはコストがかかるが、前向きになってもらうため、経営に役立つ情報も提供する

⑤補助金・助成金制度等について

(1) 森林整備基金による補助金
森林整備基金は、国の補助金（国庫補助金）や、地方自治体の補助金（地方交付金）などから成り立っています。この基金から、森林所有者や権利所有者に、森林整備に関する費用の一部を補助します。

(2) 森林整備地域活動支援交付金制度
森林整備地域活動支援交付金制度は、森林整備に関する地域活動や、森林整備に関する人材育成などを支援するための制度です。

達古武湖周辺でも様々な取組が実施されています

【事例1】達古武地域自然再生事業
達古武地域自然再生事業では、達古武湖周辺の自然環境を再生させるための取組が行われています。この取組により、土砂が湖底に堆積するのを防止し、湖の水質を改善しています。

北海道の事例等
資料検索中
詳細情報が
あります

達古武地域自然再生事業の事例（環境省も実践しているというメッセージ）

具体的に受けられる補助金等は、森林組合で紹介頂くことを想定。

ここでは補助金の内容について詳しくは記載しない

林地の転用や、開発を抑制するため、あえて制限がつくことを記載。

森林組合や釧路町の相談窓口を案内する。

その他、北海道の事例等あれば ※検索中